中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-830830　FAX:0470-64-6350

２０２１年８月号

三育学院中学校

Building Character

『 なすべきことをする生き方 』

7/26 午後 6:55 久我原からの夕焼け空

「幸福は、それを求めれば求めるほど、私たちの手からスルリと逃げ去ってしまう、という人生の逆説的な真実。すなわち“幸福のパラドックス”。古来から、哲学者たちはこの人生の真実を説き、その罠に陥ることのないよう人々を戒めてきました。」(諸富祥彦著「生きていくことの意味」40p)

私たちは自分のしたいこと、やりたいことを実現する「自己実現」にこそ価値を置く生き方を大切にする時代の中で生きてきました。しかし、このような価値観のもとでは、どこまでいってもこの欲望の虜とでもいえるような状態を満足させることはできず、さらに新たな不満の状態が生じるのみなのかも知れません。

「夜と霧」を書いたフランクルもまた、この罠から人々を解き放とうとして、これらの基本的な生き方を 180 度転換することを提案しています。それは、“私がしたいこと、やりたいことをするのが人生だ”という生き方から“私がなすべきこと、私が生まれてきたことの意味と使命を実現していくのが人生だ”という人生観に変えていくことだと述べています。

言い換えるならば、「私が本当にしたいことは、何だろう。私の人生の目的は何だろう。」といった、“幸福の獲得を目指す問い”から、「私は、この人生で何をすることを求められているのだろう。私のことを本当に必要としている人は誰なのだろう。そしてどこかにいるその人のために私にできることは、何があるだろう。」という問いに変えていくことで欲望への執着から解放された、さわやかな人生に変わっていくのだというのです。

一般には、「新型コロナが早くなくなればいい」「病気は早く治した方がいい」「人間関係は修復できればそれでいい」「不登校の子どもは、早く学校に行けるようになればそれでいい」という具合で悩みや問題はさっさと片づけてしまった方がいい対象に過ぎません。しかしフランクルの言う“意味と使命中心の生き方”では、病気、人間関係のトラブル、失職、子どもの不登校や家庭内暴力、こうしたことが起こるからには、何かそこに“意味”があるはずだと、これらの出来事を通して、人生が私に、何かを問いかけてきているはずだ、それは何なのか、人生は私に、何に気づかせ、何を学ばせようとしているのだろう？と考えるようになっていくということになります。私自身、この捉え方をするように心がけるようになってから、気持ちが楽になってきたように感じています。

うまくいかない現実に直面したとき「私の人生は、これによって私に何に気づくことを求めているのだろう。」と考えられるとどんな出来事も無駄や失敗だけでは終わらないように思えてくるから不思議です。

「神は真実な方です。あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます。」(コリントⅠ 10 章 13 節下)

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076